テキスタイルカレッジ（２０１９年度）基礎講座

化学繊維の糸づくり

さまざまな化学繊維の製造法について、基礎から先端技術までを平易に解説する講座を開催します。本講座では、まず繊維の分類と各々の繊維の製造法について概要を述べた後、高分子科学的な観点からの、糸づくりの基礎・繊維の性質の基礎についても言及します。さらに、再生繊維と合成繊維について、製造法の基礎と開発経緯、さらには、技術的工夫による高性能・高機能化につき、古典的なものから最先端技術までを、現場技術の観点から平易に解説します。

繊維の製造に関わる科学者・技術者ばかりでなく、普段さまざまな繊維を扱う方々にとっても、その製法の概要を理解しておくことは、繊維の性質を深く理解することに繋がるため極めて重要です。多数の方々のご参加をお待ちしています。

（１）化学繊維概論（10.00～11.10）　東京工業大学　物質理工学院　材料系　教授　鞠谷雄士

・繊維の分類（天然繊維・化学繊維）
・化学繊維の分類（再生繊維・半合成繊維・合成繊維・無機繊維）
・化学繊維の基本的な性質と化学構造の関係（熱特性、力学特性）
・糸の、太さ、強さなどの表記法
・糸の種類（フィラメント、ステープル、撚糸）
・布帛構造（織・編、不織布）

（２）化学繊維の糸づくり概論（11.20～12.30）　東京工業大学　物質理工学院　材料系　教授　鞠谷雄士

・化学繊維製造工程の概要（原料から製品まで）
・化学繊維のつくり方（紡糸、延伸、溶融紡糸、溶液紡糸（湿式、乾式、半乾半湿式））
・材料の性質と製造条件の違い（ポリエステルとポリプロピレン、繊維構造形成）
・さまざまな化学繊維製造技術（スパンボンド、メルトブロー、フラッシュ紡糸、電界紡糸等）

（３）再生繊維の糸づくり（13.30～15.00）　元旭化成、日本繊維技術士センター理事　溝口隆久

・湿式紡糸の基礎と開発経緯
・ビスコースレーヨンとキュプラの紡糸技術の違い
・生産工程と製法・条件
・生産性向上、高機能化、機能付与

（４）合成繊維の糸づくり（15.15～16.45）　元東レ、齋藤技術士事務所代表　齋藤磯雄

・溶融紡糸の基礎と開発経緯（従来法、POY-DTY、超高速溶融紡糸等）
・さまざまな機能性繊維の糸づくり（異形断面、中空、異収縮混繊、細De、モノフィラメント、複合繊維、極細繊維、導電性、共重合、カチオン可染、アルカリ減量等）
・産業用繊維の製法と高性能化

（５）紡糸・延伸工程における品質欠点と最終製品への影響（16.55～17.55）
元帝人、元TMTマシナリー、中田西日本技術士事務所代表　中田賢一

・合成繊維（主にポリエステル長繊維）生産時の各種品質欠点と後工程への影響
・品質欠点の発生要因と対策
・生産工場での品質管理体制確立について

■日時：2019年7月26日（金）10:00～17:55

■会場：会場が変更になりました。
大阪大学中之島センター１０階ホール
（大阪市北区中之島4-3-53）

https://www.onc.osaka-u.ac.jp/others/map/index.php

■ｱｸｾｽ：地下鉄四つ橋線「本町駅」下車
28号出口北へ徒歩５分

■定員：50名（定員になり次第締め切らせて頂きます）

■協賛：大阪染色協会、関西ファッション連合、
日本化学繊維協会

■参加費：（税別）
会　員：15,000 円　協賛学協会員：15,000 円
非会員：23,000 円
学生会員：3,000 円　学生非会員：5,000 円

■申込方法：
学会ウェブページよりお申し込み下さい
https://tmsj-orjp.sslwww.jp/college/

■お問合せ：日本繊維機械学会
Tel：06-6443-4691／Fax：06-6443-4694
E-mail：info@tmsj.or.jp